

介護保険制度改正・報酬改定 速報&解説LIVE！

■2024年2月3日

経営者・管理者限定企画！収支シミュレーション編

天晴れ介護サービス総合教育研究所 株式会社
代表取締役 榊原 宏昌

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

1

主なサービス	収支差率	基本報酬:現行比	備考
特養	▲1.0%	2.8%	ユニット型個室
ショート（生活）	2.6%	1.0%	併設・ユニット型個室、長期減算
通所介護	1.5%	0.5%	通常規模
グループホーム	3.5%	0.1%	1単位up
特定施設	2.9%	0.7%	
居宅介護支援	4.9%	0.9%	支援が指定ならさらにup、特定も
訪問介護	7.8%	▲2.3%	身体30-60、同一建物▲、特定+？
定期巡回	11.0%	▲4.4%	一体型
訪問看護	5.9%	0.2~0.3%	1単位程度、理学療法士等もup
訪問リハビリ	9.1%	0.3%	要支援は▲2.9%
老健	▲1.1%	4.1%	多床室、強化型、類型で差がつく
通所リハビリ	1.8%	0.7%	大規模 I は辛いのか？、通常算定へ
小規模多機能	3.5%	0.3%	総合・認知症で▲も？
看護小規模多機能	4.5%	0.1%	総合・認知症・利用回数で▲？
	平均2.4%		

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

2

報酬改定セミナー特設ページ！

令和6年度介護報酬改定セミナー視聴ページ

本セミナーは、Q&Aが出る4月くらいまで、毎月2～3回、最新情報をリアルタイムに解説していきます。アーカイブ動画や資料を掲載していきますので、お役立て下さい。

※「アンケート」にもご協力頂けると嬉しいです。

※なお、こちらのセミナーはfacebookグループ（介護と介護事業を守り、よくする！1000人の仲間たち）にてご覧頂けます。コメント等でやりとりもできるようになりますので、お手数ですが、ぜひご登録下さいませ。

介護保険制度改正詳細解説セミナー！（2023年1月11日）
～2022年度介護保険部会での議論総まとめ！
今後の事業戦略を考える上での基本情報！～
※通常、有料で販売している動画を無料公開！

動画はこちらからご覧下さい



 ファイルをダウンロード



ID : kaigo

PW : 5555

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

3

経営者等限定！特設ページ！

令和6年度介護報酬改定対応特別セミナー

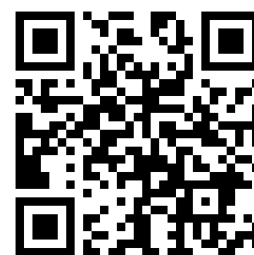
本セミナーは、経営者・管理者の方を対象に、改定内容をどう経営に活かすか、という視点でお送りします。

アーカイブ動画や資料を掲載していきますので、お役立て下さい。

※「アンケート」にもご協力頂けると嬉しいです。

※なお、こちらのセミナーはfacebookグループ（【令和6年度介護報酬改定】経営者・管理者向け特別セミナー）にて、リアルタイムでご覧頂けます。

コメント等でやりとりもできるようになりますので、お手数ですが、ぜひご登録下さいませ。



ID : taiou

PW : 5555

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

4

講師プロフィール

- ◎昭和52年、愛知県生まれ 介護福祉士、介護支援専門員
- ◎京都大学経済学部卒業後、平成12年、特別養護老人ホームに介護職として勤務
- ◎社会福祉法人、医療法人にて、生活相談員、グループホーム、居宅ケアマネジャー、有料老人ホーム、小規模多機能等の管理者、新規開設、法人本部の実務に携わる
- ◎15年間の現場経験を経て、平成27年4月「介護現場をよくする研究・活動」を目的に独立
- ◎著書、雑誌連載多数。講演、コンサルティングは年間400回を超える
- ◎ブログ、facebook、毎朝5:55のライブ配信など毎日更新中
- ◎YouTubeや動画ライブラリーでは500本以上の動画を配信
- ◎介護と介護事業を守り、よくする教育インフラ「リーダーズ・プログラム（年会費制）」を主催
- ◎「継続的な学習」を当たり前。「リーダー」を1人でも多く増やすために、日々活動中
- ◎4児の父、趣味はクラシック音楽
- ◎天晴れ介護サービス総合教育研究所 <https://www.appare-kaigo.com/> 「天晴れ介護」で検索



- 日本福祉大学 社会福祉総合研修センター 兼任講師 ■全国有料老人ホーム協会 研修委員
- 稲沢市 地域包括支援センター運営協議会委員 ■HMS介護事業経営コンサルタント
- 出版実績：中央法規出版、中央法規出版、ナツメ社、その他10冊以上
- 平成20年第21回G Eヘルスケア・エッセイ大賞にてアーリー・ヘルス賞を受賞
- 榊原宏昌メールアドレス sakakibara1024@gmail.com

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

5

介護現場をよくする研究・活動



- facebook、ブログ等を毎日更新、情報発信
- 天晴れ介護サービス総合教育研究所YouTubeチャンネル 週1～2回動画配信
- メルマガ（日刊：介護の名言、週刊：介護現場をよくする研究&活動通信）
- 以上の情報はHP（「天晴れ介護」で検索）よりどうぞ

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

6

介護現場をよくする研究・活動

■よい介護職はいても、よい介護現場はなかなかない……

- ・ 1人1人がよくなるだけでは、うまくいかない
- ・ チーム、組織、目標、計画、ルール
リーダーシップ、コミュニケーションなどが必要
- ・ 「介護現場」をよくすることで
利用者はもちろん、職員も幸せになれる！
- ・ 人と人とお互いに学び合い
気持ちよく支え合える社会づくり

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

7

天晴れ介護サービス「ACGs」！

APPARE CARE SERVICE GOALS 2023

天晴れ介護サービス
介護現場をよくする21のテーマ



Colored by bridge link plus

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

8

利用者・職員から選ばれる！

介護サービス 経営の教科書

～人を大切にする経営「10」の極意～

利用者・職員から選ばれる！
介護サービス
経営の教科書
天晴れ介護サービス総合研究所 (株)
代表取締役 榎原 宏昌
97%が効果を実感！
年間400回超の
コンサルティングから見えた
人を大切にする経営10の極意
BILA出版

稼働

数字

個別ケア

人材確保

ルール

コミュニ
ケーション

継続的学習

評価制度

組織・人事

PDCA

本日の内容

- 経営者・管理者限定企画！
収支シミュレーション編

令和6年度改定

■訪問介護	※経営実態調査7.8%（全サービス平均2.4%）※併設8.5%、地域5.3%				備考	備考
	現行	改定	差	%		
身体20分未満	167	163	-4	-2.4%	身体I生活Iで▲10単位を想定 利用者100名、職員9.5名 職員1人あたり1日5.5回訪問 訪問1回あたり単価4300円 売上475万、利益90万(約20%) 1100回×▲10単位=▲11万	身体30-60で0.3%、1単位up ※通院等乗降介助は病院間OKに ※看取り期の2時間ルール緩和
身体20~30分未満	250	244	-6	-2.4%		
身体30~60分未満	396	387	-9	-2.3%		
生活20~45分未満	183	179	-4	-2.2%		
生活45分以上	225	220	-5	-2.2%		
通院等乗降介助	99	97	-2	-2.0%		

令和6年度改定

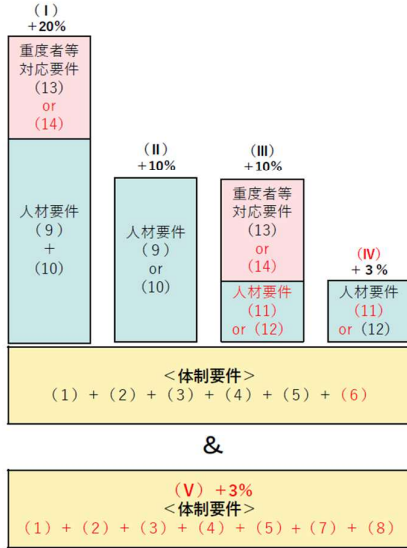
■訪問介護や定期巡回について

- 収支差率がそれぞれ、7.8%、11.0%と高かったからマイナス（2.3%）？**
 →ただし、収入はほぼ横ばい、人件費が下がったこと（人材不足）による利益率の向上だったのではないか？
 →また、同一建物減算の事業所の収支差率は8.5%、それ以外は5.3%ということを見ると、一律に下げるのは…？
 →訪問看護や訪問リハは、それぞれ5.9%、9.1%だったがプラス改定…
- 処遇改善でしっかり手当した？**
 →サービスの継続性には懸念が残る……
- 同一建物等減算で、49人以下で同一建物等90%以上：▲10%→▲12%**
 →サ高住等併設はさらに苦しい（給付費の3割程度が併設型とのこと）
- 新設の特定事業所加算（V：※体制のみ）が3%、マイナス分を補えるか**
 →個別研修／会議／報連相／健康診断／緊急時明示／中山間へ／連携

令和6年度改定

1. (2) ① 訪問介護における特定事業所加算の見直し③

[各区分ごとの算定イメージ]



注1: 別区分同士の併算定は不可。ただし、(V)とそれぞれの加算は併算定可。
 注2: 加算(Ⅰ)・(Ⅲ)については、重度者等対応要件を選択式とし、(13)または(14)を満たす場合に算定できることとする。また、(14)を選択する場合には(6)を併せて満たす必要がある。
 注3: (V)は特別地域加算、中山間地域等における小規模事業所加算、中山間地域等に居住する者へのサービス提供加算とは併算定不可。

算定要件	区 分 加 算 率				
	(Ⅰ) 20%	(Ⅱ) 10%	(Ⅲ) 10%	(Ⅳ) 3%	(Ⅴ) 3%
現行の(6)を(Ⅰ)に統合、(6)、(7)、(8)、(14)を新設、現行の(12)を削除					
(1) 訪問介護員等・サービス提供責任者ごとに作成された研修計画に基づく研修の実施	○	○	○	○	○
(2) 利用者に関する情報又はサービス提供に当たっての留意事項の伝達等を目的とした会議の定期的な開催	○	○	○	○	○
(3) 利用者情報の文書等による伝達(※)、訪問介護員等からの報告	○	○	○	○	○
(4) 健康診断等の定期的な実施	○	○	○	○	○
(5) 緊急時等における対応方法の明示	○	○	○	○	○
(6) 病院、診療所又は訪問看護ステーションの看護職との連携により、24時間連絡できる体制を確保しており、かつ、必要に応じて訪問介護を行うことができる体制の整備、着取り期における対応方針の策定、着取りに関する職員研修の実施等	○	○	○	○	○
(7) 通常の事業の実施地域内であって中山間地域等(※1)に居住する者に対して、継続的にサービスを提供していること					○
(8) 利用者の心身の状況またはその家族等を取り巻く環境の変化に応じて、訪問介護事業所のサービス提供責任者が起点となり随時介護支援員、関係関係職種等と共同し、訪問介護計画の見直しを行っていること					○
(9) 訪問介護員等のうち介護福祉士の占める割合が30%以上、又は介護福祉士、実務者研修修了者、並びに介護職員基礎研修課程修了者及び1級課程修了者の占める割合が50%以上	○	○	○	○	○
(10) 全てのサービス提供責任者が3年以上の実務経験を有する介護福祉士、又は5年以上の実務経験を有する実務者研修修了者・介護職員基礎研修課程修了者・1級課程修了者	○	○	○	○	○
(11) サービス提供責任者を常勤により配置し、かつ、基準を上回る数の常勤のサービス提供責任者を1人以上配置していること			○	○	○
(12) 訪問介護員等の総数のうち、勤続年数7年以上の者の占める割合が100分の30以上であること			○	○	○
(13) 利用者のうち、要介護4、5である者、日常生活自立度(Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ)である者、たんの吸引等を必要とする者の占める割合が20%以上	○	○	○	○	○
(14) 着取り期の利用者(※2)への対応実績が1人以上であること(併せて体制要件(6)の要件を満たすこと)	○	○	○	○	○

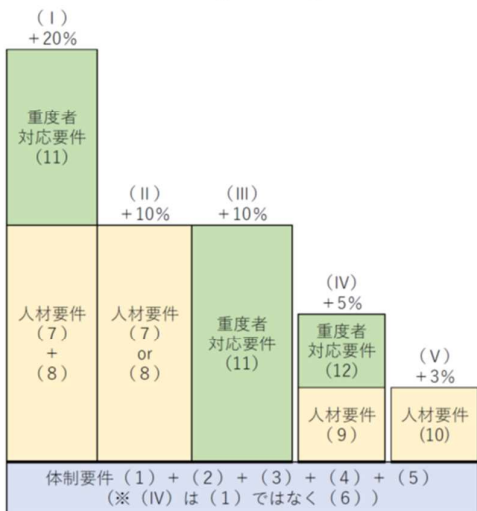
(※1) 中山間地域等に居住する者へのサービス提供加算と同様の対象地域
 (※2) 医師が一般に認められている医学的知見に基づき回復の見込みがないと診断した者であること。

第239回社会保険審議会介護給付費分科会

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

特定事業所加算の概要

[イメージ]



注: (Ⅲ)と(Ⅴ)を同時に算定する場合を除いて、別区分同士の併算定は不可。

[参考: 算定率]

請求事業所数	算定率(事業所ベース)
総数	34,294
特定事業所加算(Ⅰ)	2,210 6.44%
特定事業所加算(Ⅱ)	10,127 29.53%
特定事業所加算(Ⅲ)	244 0.71%
特定事業所加算(Ⅳ)	8 0.02%
特定事業所加算(Ⅴ)	208 0.61%

【出典】厚生労働省「介護給付費等実態統計」令和4年4月調査(令和4年3月サービス提供)分より老健施設知能障害・地域介護推進課作成及び介護保険総合データベースの任意集計(令和4年3月サービス提供分)

算定要件	区 分 加 算 率				
	I +20/100	II +10/100	III +10/100	IV +5/100	V +3/100
(1) 訪問介護員等ごとに作成された研修計画に基づく研修の実施	○	○	○		○
(2) 利用者に関する情報又はサービス提供に当たっての留意事項の伝達等を目的とした会議の定期的な開催	○	○	○	○	○
(3) 利用者情報の文書等による伝達(※)、訪問介護員等からの報告	○	○	○	○	○
(4) 健康診断等の定期的な実施	○	○	○	○	○
(5) 緊急時等における対応方法の明示	○	○	○	○	○
(6) サービス提供責任者ごとに作成された研修計画に基づく研修の実施				○	
(7) 訪問介護員等のうち介護福祉士の占める割合が100分の30以上、又は介護福祉士、実務者研修修了者、並びに介護職員基礎研修課程修了者及び1級課程修了者の占める割合が100分の50以上	○	○	○	○	○
(8) 全てのサービス提供責任者が3年以上の実務経験を有する介護福祉士、又は5年以上の実務経験を有する実務者研修修了者若しくは介護職員基礎研修課程修了者若しくは1級課程修了者	○	○	○	○	○
(9) サービス提供責任者を常勤により配置し、かつ、同項に規定する基準を上回る数の常勤のサービス提供責任者を1人以上配置していること				○	
(10) 訪問介護員等の総数のうち、勤続年数7年以上の者の占める割合が100分の30以上であること					○
(11) 利用者のうち、要介護4、5である者、日常生活自立度(Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ)である者、たんの吸引等を必要とする者の占める割合が100分の20以上	○	○	○	○	○
(12) 利用者のうち、要介護3~5である者、日常生活自立度(Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ)である者、たんの吸引等を必要とする者の占める割合が100分の60以上				○	

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

令和6年度改定

■訪問看護（ステーション）		※経営実態調査5.9%（全サービス平均2.4%）						
要介護	現行	改定	差	%	備考	前回		
20分未満	313	314	1	0.3%	0.2%up、1～2単位程度	0.2%up、1～2単位程度 ※退院・退所当日の訪問看護OKに		
30分未満	470	471	1	0.2%				
30～60分未満	821	823	2	0.2%				
60～90分未満	1125	1128	3	0.3%				
理学療法士等	293	294	1	0.3%				
理学療法士等の減算	常勤換算約30名+事務、看護約1300回/月、リハ約2000回/月 40分枠が多い（20分×2）、1回につき▲16単位、2000回×▲160円=▲32万/月、▲約400万/年 →職員1人あたりの訪問件数増（稼働up）、単価up、看護に力入れる							

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

17

令和6年度改定

理学療法士等による訪問看護の評価の見直し（全体イメージ）

- 次の基準のいずれかに該当する場合に以下の通り減算する
- 前年度の理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士による訪問回数が、看護職員による訪問回数を超えていること
 - 緊急時訪問看護加算、特別管理加算及び看護体制強化加算をいずれも算定していないこと

訪問看護費

理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士による訪問		②緊急時訪問看護加算、特別管理加算、看護体制強化加算	
		算定している	算定していない
①訪問回数	看護職員≧リハ職	—	8単位減算（新設）
	看護職員<リハ職	8単位減算（新設）	8単位減算（新設）

介護予防訪問看護費

理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士による訪問		②緊急時訪問看護加算、特別管理加算、看護体制強化加算	
		算定している	算定していない
①訪問回数	看護職員≧リハ職	12月を超えて行う場合は5単位減算（現行のまま）	8単位減算（新設）※
	看護職員<リハ職	8単位減算（新設）※	8単位減算（新設）※

※12月を超えて訪問を行う場合は更に**15単位減算（新設）**

第239回社会保障審議会介護給付費分科会

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

18

令和6年度改定

■通所介護（通常規模、7-8）		※経営実態調査1.5%（全サービス平均2.4%）					
	現行	改定	差	%	備考	備考	
要介護1	655	658	3	0.5%	0.5%アップ、要介護2の単位で 40定員、月一土、支5、介25 4単位×25名×25日=2.5万円up	1%アップ 40定員、月一土、支5、介25 8単位×25名×25日=5万円up	
要介護2	773	777	4	0.5%			
要介護3	896	900	4	0.4%			
要介護4	1018	1023	5	0.5%			
要介護5	1142	1148	6	0.5%			
認知症加算（20%→15%）	60/日	60/日			登録90（介70）、Ⅲ10名、月12回、新規で算定すると+7万円		
ADL維持等加算Ⅱの要件厳格化	Ⅱ60/月	Ⅰ30/月	▲30/月		登録90（介70）、▲30単位、Ⅰになると…▲2万円		
個別機能訓練Ⅱの職員配置緩和	85/日	76/日	▲9/日		介25名、▲9単位、25日、▲約5.5万円		
これまで算定していない加算							

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

19

令和6年度改定

■通所介護（大規模Ⅰ、7-8）		※経営実態調査1.5%（全サービス平均2.4%）					
	現行	改定	差	%	備考	備考	
要介護1	626	629	3	0.5%	0.5%アップ、要介護2の単位で 40定員、月一土、支5、介30 4単位×30名×25日=3万円up		
要介護2	740	744	4	0.5%			
要介護3	857	861	4	0.5%			
要介護4	975	980	5	0.5%			
要介護5	1092	1097	5	0.5%			
認知症加算（20%→15%）	60/日	60/日			登録105（介85）、Ⅲ13名、月12回、新規で算定すると+9.5万円		
ADL維持等加算Ⅱの要件厳格化	Ⅱ60/月	Ⅰ30/月	▲30/月		登録105（介85）、▲30単位、Ⅰになると…▲2.5万円		
個別機能訓練Ⅱの職員配置緩和	85/日	76/日	▲9/日		介30名、▲9単位、25日、▲約7万円		
これまで算定していない加算							

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

20

令和6年度改定

■通所介護（大規模Ⅱ、7・8）	※経営実態調査1.5%（全サービス平均2.4%）				備考	備考
	現行	改定	差	%		
要介護1	604	607	3	0.5%	0.4%アップ、要介護2の単位で 45定員、月一土、支8、介32 3単位×32名×25日=2.5万円up	
要介護2	713	716	3	0.4%		
要介護3	826	830	4	0.5%		
要介護4	941	946	5	0.5%		
要介護5	1054	1059	5	0.5%		
認知症加算（20%→15%）	60/日	60/日			登録120（介95）、Ⅲ14名、月12回、新規で算定すると+10万円	
ADL維持等加算Ⅱの要件厳格化	Ⅱ60/月	Ⅰ30/月	▲30/月		登録120（介95）、▲30単位、Ⅰになると…▲3万円	
個別機能訓練Ⅱの職員配置緩和	85/日	76/日	▲9/日		介32名、▲9単位、25日、▲約7万円	
これまで算定していない加算						

令和6年度改定

■地域密着型通所介護（7・8）	※経営実態調査3.5%（全サービス平均2.4%）				備考	備考
	現行	改定	差	%		
要介護1	750	753	3	0.4%	0.3%アップ、要介護2の単位で 18名、月一土、支3、介12 3単位×12名×25日=約1万円up	
要介護2	887	890	3	0.3%		
要介護3	1028	1032	4	0.4%		
要介護4	1168	1172	4	0.3%		
要介護5	1308	1312	4	0.3%		
認知症加算（20%→15%）	60/日	60/日			登録45（介35）、Ⅲ5名、月12回、新規で算定すると+3.5万円	
ADL維持等加算Ⅱの要件厳格化	Ⅱ60/月	Ⅰ30/月	▲30/月		登録45（介35）、▲30単位、Ⅰになると…▲1万円	
個別機能訓練Ⅱの職員配置緩和	85/日	76/日	▲9/日		介12名、▲9単位、25日、▲約3万円、※新規算定なら+23万	
これまで算定していない加算						

令和6年度改定

■通所リハビリテーション（老健、通常規模、7-8） ※経営実態調査1.8%（全サービス平均2.4%）

	現行	改定	差	%	備考	前回
要介護1	757	762	5	0.7%	0.7%プラス 40定員、月一土、支5、介25 6単位×25名×25日＝約4万円up	要介護2で5.2%プラス 4～6%、加算の基本報酬包括化 40名、月一土、介30名 44単位×30名×25日＝33万
要介護2	897	903	6	0.7%		
要介護3	1039	1046	7	0.7%		
要介護4	1206	1215	9	0.7%		
要介護5	1369	1379	10	0.7%		
リハマネ加算（ハ）	—	200			登録90（介70）、14万円up	
口腔、退院、その都度						
現行の大規模Ⅰ	868	847	-21	-2.4%	40定員、月一土、支5、介30、▲約16万円 通常規模報酬なら35単位増、約26万円up リハマネ加算（ハ）は、登録105（介85）、17万円up	
現行の大規模Ⅱ	841	847	6	0.7%	45定員、月一土、支8、介32、約5万円up 通常規模報酬なら62単位増、約50万円up リハマネ加算（ハ）は、登録120（介95）、19万円up	

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

23

令和6年度改定

■小規模多機能（同一建物以外） ※経営実態調査3.5%（全サービス平均2.4%）

	現行	改定	差	%	備考	前回
要支援1	3438	3450	12	0.3%	0.3%アップ 要介護2の単位 52単位×29名＝約15,000円up	0.6%アップ 要介護2の単位 86単位×29名＝約25,000円up
要支援2	6948	6972	24	0.3%		
要介護1	10423	10458	35	0.3%		
要介護2	15318	15370	52	0.3%		
要介護3	22283	22359	76	0.3%		
要介護4	24593	24677	84	0.3%		
要介護5	27117	27209	92	0.3%		
総合マネジメント	1000	1200	200		200単位×29名＝約6万円up！	基本報酬のアップを含め MAXで約13万円up MINで▲約5万円 →約18万円の差が出る
体制強化加算	1000	800	-200		▲約6万円	
認知症加算（Ⅰ）	800	920	120		120単位×15名＝約2万円up！	
認知症加算（Ⅱ）	800	890	90		90単位×15名＝約1.5万円up！	
認知症加算（Ⅲ）旧（Ⅰ）	800	760	-40		▲40単位×15名＝▲約6,000円	
認知症加算（Ⅳ）旧（Ⅱ）	500	450	-50		▲50単位×15名＝▲約2,500円	
生産性向上（Ⅰ）	0	100	100		100単位×29名＝約3万円up！	
生産性向上（Ⅱ）	0	10	10		10単位×29名＝約3,000円up！	

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

24

令和6年度改定

■居宅介護支援

※経営実態調査4.9%（全サービス平均2.4%）

	現行	改定	差	%	備考	前回
要介護1・2	1076	1086	10	0.9%	0.9%アップ 介30名、支10名とすると CM1人につき+9500円程度	1.8%アップ 介30名、支10名とすると CM1人につき+7000円程度
要介護3-5	1398	1411	13	0.9%		
要支援（下段は包括取分考慮）	438	472	34	7.8%		
	410	472	62	15.1%		
特定事業所加算（Ⅰ）	505	519	14	2.8%	（Ⅱ）だと	
特定事業所加算（Ⅱ）	407	421	14	3.4%	介30名、14単位、4200円up	
特定事業所加算（Ⅲ）	309	323	14	4.5%	基本報酬と合わせると	
特定事業所加算（A）	100	114	14	14.0%	CM1人につき約14000円up	
従来の加算						

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

25

令和6年度改定

■Kステーション（常勤換算9.4名）

	利用者数			現行（予防の単位数は包括の差引後を想定）					
	人数	割合		単位数	特定	金額	収入	利益	
要支援	90	20.7%	20.7%	410	—	4,100	369,000		
要介護1, 2	245	56.3%	79.3%	1076	407	14,830	3,633,350		
要介護3-5	100	23.0%		1398	407	18,050	1,805,000		
合計	435						5,807,350	650,000	
中重度割合	29.0%	特定Ⅱ				年間	69,688,200	7,800,000	
				件数	390	CM数	9.4	CM1人あたり	41.5
				令和6年度改定（予防は指定を受ける）					
				単位数	特定	金額	収入	利益	
				472	—	4,720	424,800	424,800	15.1%
				1086	421	15,070	3,692,150	3,692,150	1.6%
				1411	421	18,320	1,832,000	1,832,000	1.5%
							5,948,950	800,000	13.4%
						年間	71,387,400	9,600,000	
				件数	375	CM数	9.4	CM1人あたり	39.9
				※要支援は3分の1カウント				CM1人あたり	15957

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

26

居宅介護支援の収支 (35件)

- ・ 管理者手取月27万円（年400万）、ケアマネ24万円（年350万）、賞与2.4月分／年
- ・ 要介護者の平均要介護度は2.0 ・ 特定事業所加算は基本（Ⅱ）（Ⅲ）（A）を取得

■ケアマネジャー1人あたりの件数は35件（要介護30名＋要支援10名）

	1人	2人	3人	5人	7人	10人
利用者数	40名	80名	120名	200名	280名	400名
売上	400,000	827,000	1,470,000	2,600,000	3,640,000	5,200,000
支出	650,000	1,130,000	1,585,000	2,510,000	3,440,000	4,740,000
利益	-250,000	-303,000	-115,000	90,000	200,000	460,000
利益率	-62.5%	-36.6%	-7.8%	3.5%	5.5%	8.8%

■ケアマネジャー1人あたりの件数は35件（要介護27名＋要支援16名）

	1人	2人	3人	5人	7人	10人
利用者数	43名	86名	129名	215名	301名	430名
売上	385,000	798,000	1,400,000	2,460,000	3,450,000	4,930,000
支出	650,000	1,130,000	1,585,000	2,510,000	3,440,000	4,740,000
利益	-265,000	-332,000	-185,000	-50,000	10,000	190,000
利益率	-68.8%	-41.6%	-13.2%	-2.0%	0.3%	3.9%

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

27

居宅介護支援の収支 (40件)

- ・ 管理者手取月27万円（年400万）、ケアマネ24万円（年350万）、賞与2.4月分／年
- ・ 要介護者の平均要介護度は2.0 ・ 特定事業所加算は基本（Ⅱ）（Ⅲ）（A）を取得

■ケアマネジャー1人あたりの件数は40件（要介護34名＋要支援12名）

	1人	2人	3人	5人	7人	10人
利用者数	46名	92名	138名	230名	322名	460名
売上	450,000	933,000	1,670,000	2,950,000	4,130,000	5,900,000
支出	650,000	1,130,000	1,585,000	2,510,000	3,440,000	4,740,000
利益	-200,000	-197,000	85,000	440,000	690,000	1,160,000
利益率	-44.4%	-21.1%	5.1%	14.9%	16.7%	19.7%

■ケアマネジャー1人あたりの件数は40件（要介護32名＋要支援16名）

	1人	2人	3人	5人	7人	10人
利用者数	48名	96名	144名	240名	336名	480名
売上	440,000	915,000	1,620,000	2,860,000	4,000,000	5,720,000
支出	650,000	1,130,000	1,585,000	2,510,000	3,440,000	4,740,000
利益	-210,000	-215,000	35,000	350,000	560,000	980,000
利益率	-47.7%	-23.5%	2.2%	12.2%	14.0%	17.1%

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

28

居宅介護支援の収支 (45件)

- ・ 管理者手取月27万円（年400万）、ケアマネ24万円（年350万）、賞与2.4月分／年
- ・ 要介護者の平均要介護度は2.0 ・ 特定事業所加算は基本（Ⅱ）（Ⅲ）（A）を取得

■ケアマネジャー1人あたりの件数は45件（要介護39名＋要支援12名）

	1人	2人	3人	5人	7人	10人
利用者数	57名	114名	171名	285名	399名	510名
売上	565,000	1,050,000	1,890,000	3,260,000	4,680,000	6,700,000
支出	650,000	1,130,000	1,585,000	2,510,000	3,440,000	4,740,000
利益	-85,000	-80,000	305,000	750,000	1,240,000	1,960,000
利益率	-15.0%	-7.6%	16.1%	23.0%	26.5%	29.3%

■ケアマネジャー1人あたりの件数は45件（要介護36名＋要支援18名）

	1人	2人	3人	5人	7人	10人
利用者数	60名	120名	180名	300名	420名	540
売上	550,000	1,020,000	1,820,000	3,210,000	4,500,000	6,400,000
支出	650,000	1,130,000	1,585,000	2,510,000	3,440,000	4,740,000
利益	-100,000	-110,000	235,000	700,000	1,060,000	1,660,000
利益率	-18.2%	-10.8%	12.9%	21.8%	23.6%	25.9%

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

29

令和6年度改定

■特養（個室ユニット） ※経営実態調査▲1.0%（全サービス平均2.4%）

	現行	改定	差	%	備考	前回
要介護1			0	#DIV/0!	24単位×80人×30日=約60万年間で約700万円up	1.9%アップ 16単位×80人×30日=約40万年間で約500万円up
要介護2			0	#DIV/0!		
要介護3	793	815	22	2.8%		
要介護4	862	886	24	2.8%		
要介護5	929	955	26	2.8%		
協力医療機関連携加算（Ⅰ）	100単位／月（R6）、50単位（R7）				8万円up	約30万円up 年間で約360万円up
個別機能訓練加算（Ⅲ）	20単位／月				1.6万円up	
認知症チームケア推進加算Ⅰ	150単位／月				12万円up	
生産性向上（Ⅰ）	0	100	100		100単位×80名=約8万円up!	
生産性向上（Ⅱ）	0	10	10		10単位×80名=約8,000円up!	
従来加算					※自立支援促進加算は▲20単位、▲1.6万円	

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

30

令和6年度改定

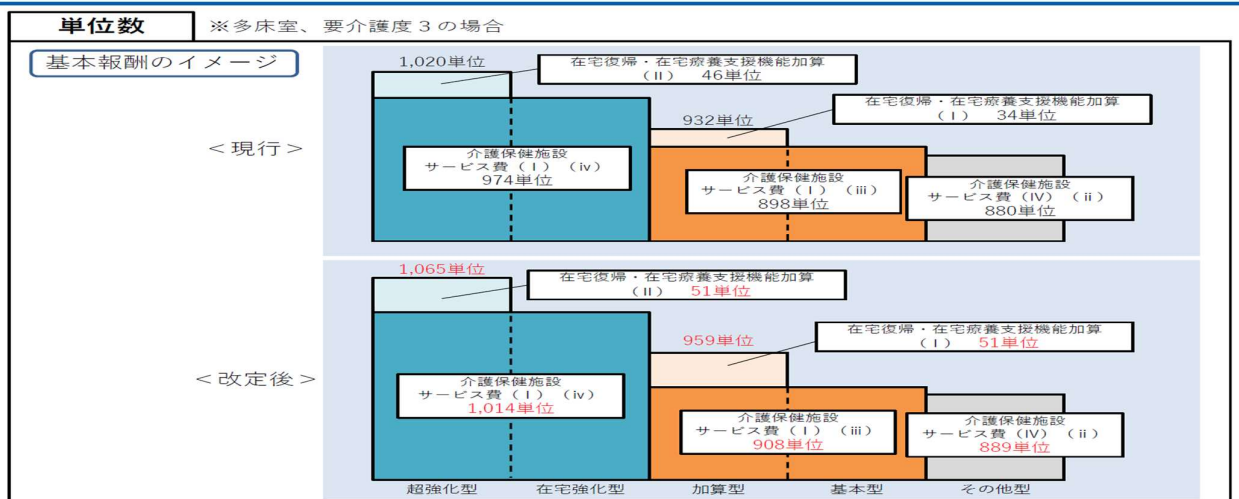
■老健（多床室、在宅強化型）		※経営実態調査▲1.1%（全サービス平均2.4%）						
	現行	改定	差	%	備考	前回		
要介護1	836	871	35	4.2%	要介護3で4.1%up 40単位×80人×30日=約100万 年間で約1200万円up			
要介護2	910	947	37	4.1%				
要介護3	974	1014	40	4.1%				
要介護4	1030	1072	42	4.1%				
要介護5	1085	1125	40	3.7%				
協力医療機関連携加算（1）	100単位/月（R6）、50単位（R7）				8万円up	約30万円up 年間で約360万円up		
リハマネ計画書情報加算（1・新）	33	53	20	60.6%	1.6万円up			
認知症チームケア推進加算Ⅰ	150単位/月				12万円up			
生産性向上（Ⅰ）	0	100	100		100単位×80名=約8万円up！			
生産性向上（Ⅱ）	0	10	10		10単位×80名=約8,000円up！			
従来のが加算					※自立支援促進加算は▲20単位、▲1.6万円			

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

31

令和6年度改定

2.（2）④ 介護老人保健施設における在宅復帰・在宅療養支援機能の促進②



増加	45単位	40単位	27単位	20単位	9単位
増加率	4.4%	4.1%	2.9%	2.2%	1.0%
月	110万	100万	65万	50万	21万
年	1300万	1200万	800万	600万	250万

第239回社会保障審議会介護給付費分科会

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

32

令和6年度改定

■特定施設入居者生活介護

※経営実態調査2.9%（全サービス平均2.4%）

	現行	改定	差	%	備考	前回
要支援 1	182	183	1	0.5%	要介護3で0.7% 5単位×50名×30日=7.5万up ※口腔衛生管理が包括化	要介護3で0.4% 3単位×50名×30日=4.5万up
要支援 2	311	313	2	0.6%		
要介護 1	538	542	4	0.7%		
要介護 2	604	609	5	0.8%		
要介護 3	674	679	5	0.7%		
要介護 4	738	744	6	0.8%		
要介護 5	807	813	6	0.7%		
協力医療機関連携加算（1）	100単位/月（R6）、50単位（R7）				100単位/月×50名=5万円up	約10万円up
生産性向上（Ⅰ）	0	100	100		100単位×50名=5万円up！	
生産性向上（Ⅱ）	0	10	10		10単位×50名=5,000円up！	
従来に加算						

令和6年度改定

■認知症対応型共同生活介護（2ユニット）

	現行	改定	差	%	備考	前回
要支援 2	748	749	1	0.1%	要介護2で0.1% 1単位×18名×30日=約5,000円	要介護2で0.4% 3単位×18名×30日=約1.5万円
要介護 1	752	753	1	0.1%		
要介護 2	787	788	1	0.1%		
要介護 3	811	812	1	0.1%		
要介護 4	827	828	1	0.1%		
要介護 5	844	845	1	0.1%		
協力医療機関連携加算（1）	100単位/月（R6）、50単位（R7）				100単位/月×18名=約2万円up	約7万円up
認知症チームケア推進加算Ⅰ	150単位/月				150単位/月×18名=約3万円up	
生産性向上（Ⅰ）	0	100	100		100単位×18名=約2万円up！	
生産性向上（Ⅱ）	0	10	10		10単位×18名=約2,000円up！	
従来に加算						

本日の内容

■ 経営者・管理者限定企画！ 収支シミュレーション編

様々な変化への対応

- **収支に与える影響**を具体的な数字で把握する
- **加算**は国が示す**シグナル**であり**メッセージ**、次回**2027年改定**への準備と考える
事業を継続するには、**利益**を出すことが必要で、
そのためには一定程度、**国の方針**に沿って行く必要もある
- 収支の面では、**加算**を算定しないと、収支が維持できないサービス種別も
加算を算定する、しないは、**現場との対話を前提とするも「経営判断」**
- とりわけ**LIFE、自立支援系**の取り組みは不可欠となる
現場職員への周知と理解を求めていく
- 加算算定等の取り組みが、カタチだけにならないように
利用者への**ケアの質**の向上、**事業所の力量アップ**につながるように
- 今すぐできないことについては**計画的に実施**する

今後の予定は？

	答申	解釈通知 留意事項通知	Q&A（第1弾）
2015（平成27）年	2月6日	3月16日	4月1日
2018（平成30）年	1月26日	3月22日	3月23日
2021（令和3）年	1月18日	3月16日	3月19日
2024（令和6）年	1月22日	???	???

●気になるところをピックアップして臨む

変化にどう向き合う？

経営	現場
収支に影響が...	収支には関心ないので...
質の向上も考えてほしいのだが...	現場は今でも手一杯なのに... 現場のことをもっと把握してほしい！
環境変化に対応するのが経営	変化する余裕はないです！ 法令も変化も苦手... カタチだけの変化にやりがいを感じない

- **事業を継続**するには、**利益**を出すことは**前提条件**と考える
- 一定程度、**国の方針**に沿って行く必要もある
- **ケアの質の向上**を考える良い機会とする（**取り組みの意義**を共有する）
- **現場の状況、声**も聞きながら…（ただ、最終的には**経営判断**）
- 4月に全ての変化を起こすのは難しいかも…（ただし、**計画的に**）

令和6年度改定

令和6年度介護報酬改定の概要

- 人口構造や社会経済状況の変化を踏まえ、「地域包括ケアシステムの深化・推進」「自立支援・重度化防止に向けた対応」「良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場づくり」「制度の安定性・持続可能性の確保」を基本的な視点として、介護報酬改定を実施。

第1回
25日

1. 地域包括ケアシステムの深化・推進

- 認知症の方や単身高齢者、医療ニーズが高い中重度の高齢者を含め、質の高いケアマネジメントや必要なサービスが切れ目なく提供されるよう、地域の実情に応じた柔軟かつ効率的な取組を推進

- ・ 質の高い公正中立なケアマネジメント
- ・ 地域の実情に応じた柔軟かつ効率的な取組
- ・ 医療と介護の連携の推進
 - 在宅における医療ニーズへの対応強化
 - 在宅における医療・介護の連携強化
 - 高齢者施設等における医療ニーズへの対応強化
 - 高齢者施設等と医療機関の連携強化
- ・ 看取りへの対応強化
- ・ 感染症や災害への対応力向上
- ・ 高齢者虐待防止の推進
- ・ 認知症の対応力向上
- ・ 福祉用具貸与・特定福祉用具販売の見直し

第2回
28日

2. 自立支援・重度化防止に向けた対応

- 高齢者の自立支援・重度化防止という制度の趣旨に沿い、多職種連携やデータの活用等を推進

- ・ リハビリテーション・機能訓練、口腔、栄養の一体的取組等
- ・ 自立支援・重度化防止に係る取組の推進
- ・ LIFEを活用した質の高い介護

3. 良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場づくり

- 介護人材不足の中で、更なる介護サービスの質の向上を図るため、処遇改善や生産性向上による職場環境の改善に向けた先進的な取組を推進
- ・ 介護職員の処遇改善
- ・ 生産性の向上等を通じた働きやすい職場環境づくり
- ・ 効率的なサービス提供の推進

第3回
31日

4. 制度の安定性・持続可能性の確保

- 介護保険制度の安定性・持続可能性を高め、全ての世代にとって安心できる制度を構築

- ・ 評価の適正化・重点化
- ・ 報酬の整理・簡素化

5. その他

- ・ 「書面揭示」規制の見直し
- ・ 通所系サービスにおける送迎に係る取扱いの明確化
- ・ 基準費用額（居住費）の見直し
- ・ 地域区分

第239回社会保障審議会介護給付費分科会

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

経営者・管理者限定回！
2月3日

39

報酬改定セミナー特設ページ！

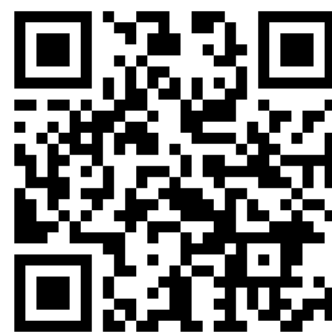
令和6年度介護報酬改定セミナー視聴ページ

本セミナーは、Q&Aが出る4月くらいまで、毎月2～3回、最新情報をリアルタイムに解説していきます。アーカイブ動画や資料を掲載していきますので、お役立て下さい。

※「アンケート」にもご協力頂けると嬉しいです。

※なお、こちらのセミナーはfacebookグループ（介護と介護事業を守り、よくする！1000人の仲間たち）にてご覧頂けます。コメント等でやりとりもできるようになりますので、お手数ですが、ぜひご登録下さいませ。

介護保険制度改正詳細解説セミナー！（2023年1月11日）
～2022年度介護保険部会での議論総まとめ！
今後の事業戦略を考える上での基本情報！～
※通常、有料で販売している動画を無料公開！



ID : kaigo
PW : 5555

動画はこちらからご覧下さい

ファイルをダウンロード

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

40

経営者等限定！特設ページ！

令和6年度介護報酬改定対応特別セミナー

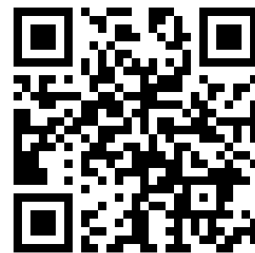
本セミナーは、経営者・管理者の方を対象に、改定内容をどう経営に活かすか、という視点でお送りします。

アーカイブ動画や資料を掲載していきますので、お役立て下さい。

※「アンケート」にもご協力頂けると嬉しいです。

※なお、こちらのセミナーはfacebookグループ（[【令和6年度介護報酬改定】経営者・管理者向け特別セミナー](#)）にて、リアルタイムでご覧頂けます。

コメント等でやりとりもできるようになりますので、お手数ですが、ぜひご登録下さいませ。



ID : taiou

PW : 5555

訪問看護 サービス別！ポイント整理！！！！

○1（3）①専門性の高い看護師による訪問看護の評価★

専門or特定行為研修／緩和・褥瘡・人工肛門・人工膀胱：診療報酬の手順書加算と同じ専門管理加算(新)250単位／月

○1（3）⑦円滑な在宅移行に向けた看護師による退院当日訪問の推進★

看護師が退院退所当日に初回訪問／初回加算（Ⅰ）350単位へ、（Ⅱ）300単位キープ

○1（4）③訪問看護等におけるターミナルケア加算の見直し

医療保険におけるターミナルケアと同様に／2000単位→2500単位／死亡月、へ

○1（4）④情報通信機器を用いた死亡診断の補助に関する評価

離島等の死亡診断／診療報酬との整合性／ターミナルケア加算＋診療報酬の死亡診断加算を算定する利用者＋研修受講看護師＋情報通信機器＋死亡診断の補助／遠隔死亡診断補助加算（新）150単位

○1（5）④業務継続計画未策定事業所に対する減算の導入★

未策定＋訓練等の措置、減算1％／1年間経過措置／情報公表／運営基準上は義務

○1（6）①高齢者虐待防止の推進★

指針、委員会、研修、担当者などの措置が講じられていない場合減算1％

○1（6）②身体的拘束等の適正化の推進★

身体拘束に対する内容を運営基準上明確化

継続的な学習の重要性！

■成長のために

- ・ **ギャップ**を埋める & **強み**を活かす
- ・ **時間とエネルギー**をかけた分だけ成長する
- ・ **よい情報を浴び続ける**、そういう**環境**に身を置く
- ・ **成長は螺旋階段**、その時々で**受け取るものも違う**
- ・ **ミラーニューロン効果**（思考・行動に影響、**時間差で効果!**）、**感度**が高まる
- ・ **知れば知るほど分からないこと**が増える、**知りたいこと**が増える
- ・ **学びが理想**をつくり、**理想が学び**を生む

■メンテナンスのために

- ・ いつも良い状態を保てるとは限らない……。
- ・ **定期的に軌道修正**させてくれる、**人・環境の存在**が必要

■自分自身、そしてチームワーク

- ・ **シャンパンタワー**：自分が満ち足りて、人を満たすことができる
- ・ **研修はチームで参加**、普段は話さないことも話す、施設を越えた連携

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

43

継続的な学習の機会を持つために



影響力・インパクト



回数・頻度



習慣化 = インパクト × 回数

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

44

研修・動画の内容 経営から現場まで400本以上！

- 経営者・経営幹部向けセミナー（20時間相当 + α）
- 管理職向けセミナー（20時間相当 + α）
- ケアマネジャー向けセミナー（10時間相当 + α）
- 全職員向け法定研修シリーズ（10時間相当 + α）
- 新人職員向けセミナー（10時間相当）
- 赤本・青本・緑本通読セミナー（20時間相当 + α）
- 1日集中講座シリーズ！（30時間相当）
（稼働率、人材確保、管理職養成、実地指導、ケアマネジメント等）
- 令和3年度介護報酬改定セミナー（10時間相当）
- リーダー、相談援助職のための説明力向上講座（5時間相当）
- 最新情報&トピックス「マンスリー・ジャーナル」（20時間相当）
- 工藤ゆみさんのコミュニケーション力向上講座（20時間相当）
- 進絵美さんの面談スキル向上講座（5時間相当）
- 吉村NSの看護セミナー（5時間相当）
- ケアマネジャー受験対策セミナー（15時間相当）

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

45

介護現場をよくするライブラリー



Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

46

管理職養成 新シリーズ！

■毎月1回90分+Q&A

1. 管理職の仕事とは～心構えと身につけるべきスキル～
2. 業務の全体像とその管理～何を見て、何を管理するのか？～
3. 「ルール」と「コミュニケーション」でチームを再点検！
4. 「業務の標準化」と信頼性と確実性の高い「教え方の技術」
5. 1対1に強くなる！個別面談（職員を知る）
6. 1対1に強くなる！個別面談（定例面談：メンテナンス編）
7. 1対1に強くなる！個別面談（定例面談：育成・指導編）
8. チームで成長する！「会議」「研修」「情報共有」の具体策
9. 「業務改善」の具体策～作戦と手順、反対意見に立ち向かう～
10. 通常業務を制する！タイムマネジメント
11. 「目標設定・計画立案」と「目標絶対達成」の考え方と技術
12. まとめ ～1年を振り返って～

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

47

生産性向上 新シリーズ！4月より

■毎月1回90分+Q&A（セミナー&後日動画）

1. 生産性向上について～全体像を把握して抵抗感を減らす～
2. 生産性向上計画の進め方～業務改善の内容と具体的方法～
3. ①職場環境の整備～5S活動について～
4. ②業務の明確化と役割分担
～業務全体の流れ、役割分担、テクノロジーの活用～
5. ③手順書の作成～業務の標準化、属人的にしない具体策～
6. 前半を終えて～Q&A、意見交換～
7. ④記録・報告様式の工夫～記録の書き方、タブレット活用～
8. ⑤情報共有の工夫～ノートや朝礼、インカムなどの活用～
9. ⑥OJTの仕組みづくり～教える内容と教え方の技術～
10. ⑦理念・行動指針の徹底～判断基準がわかるようになる～
11. 改めて生産性向上計画の全体像と進め方
12. 全体を終えて～Q&A、意見交換～

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

48

【法人向け】各種コース！

- ・ 居宅介護支援コース
- ・ 経営者向け「事業の成長と安定」コース
- ・ 管理職向け「管理職養成」コース
- ・ 生産性向上コース
- ・ 稼働率・サービス改善コース
- ・ 人材確保・育成・定着コース
- ・ ケアマネジャー・相談援助職養成コース
- ・ 新人・一般職向けコース
- ・ 法令遵守マスターコース
- ・ ビジネスの基礎知識習得コース
- ・ コミュニケーション・面談スキルコース
- ・ 障害福祉サービスコース

※今後、追加の可能性もあります

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

49

様々な活用法

1. 単発受講（セミナー＆動画など）
2. 年間の研修計画に入れる（※法人向け）
事前学習動画としての活用も効果的！階層別／職種別など
3. リーダーズ・プログラム（年会費制、3コース）
セミナー＆動画＆マニュアルのサブスク＋コミュニティ機能
最上位コースは「個別コンサルティング付き」
→コミュニティの力、行動＋成果につなげる
4. 【NEW！法人限定】個別テーマコース（年会費制）
経営／管理／ACGs／CM／稼働／人材／法令／コミュニケーション等
5. 【NEW！】6か月集中グループコンサルティング
知識や情報を「行動」と「成果」につなげる！4との組み合わせ！
6. 【NEW！】根っこを鍛える！（無料！）
経営者・管理者向け勉強会／7つの習慣勉強会

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

50

介護と介護事業を守り、よくする「教育インフラ」 リーダーズ・プログラム！（年会費制）

1. 毎月10～15本の新着セミナー＆QA
2. 経営から現場までを網羅した動画コンテンツ
2023年10月現在で400本超！ショート動画も好評
3. 毎年のシリーズ企画
管理職養成、生産性向上、ACGs、医療知識、コミュニケーションなど
4. 6か月集中！グループコンサルティング
知識や情報を「行動」と「成果」につなげる！
インプットとの組み合わせ！個別課題に対応！
5. 各種グループコンサルティング
月1回QA30分、月1回QA90分、月1回ワーキング90分
月1回PDCA120分、月1回45分個別コンサルティング

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

51

新企画！ケアラーズ・クラブ

- 毎月1回、30分のグループQAセッション（zoom）
※榊原からの導入＋皆さんからのQ&A
※後日動画あり
- 通常セミナー（2,000円～10,000円！）
毎月1回ご招待！（※コースセミナー除く）
※後日動画あり
- ケアラーズ・クラブ（月会費制／法人・個人）

月額800円！（税抜）



Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

52

ぜひご登録くださいませ！

天晴れ介護サービス公式LINEに登録して
「お得情報」と「特典動画」「限定セミナー」を
手に入れる！

特典動画は「経営から現場まで！
介護事業の持続的な成功を実現する3つの取り組み」！

天晴れ介護サービスYouTubeチャンネルに
登録して「無料動画」で楽しく学習する！

200本近くの動画＋約100本のショート動画！
気軽に学ぶには最適です！

facebookグループ
介護と介護事業を守り、よくする！
1000人の仲間たち\ (^ ^) /
に参加して、報酬改定速報セミナーを見る！

毎朝5:55のLIVEにも参加できます！
朝活、おススメです (^ ^) ！

天晴れ介護サービス公式メルマガに登録して
「最新情報」と「特典動画」を手に入れる！

毎週4,000字の情報＋特典動画！
特典動画は…これから用意しますm(__)m



アンケートにご協力お願いします！

今回のライブ（動画）のご感想などあれば教えてください

記述式テキスト（短文回答）

今後のライブ（動画）で、聞いてみたい内容などありましたら教えてください

記述式テキスト（短文回答）

現在、抱えている課題などありましたら教えてください

記述式テキスト（短文回答）



目標設定・計画立案 3日間チャレンジ！パート2！！

■スケジュール

DAY1：2月6日（火）

DAY2：2月8日（木）

DAY3：2月10日（土）

※いずれも21時～、zoomで行います！、無料！



■後日動画もありますが、リアルタイム参加を推奨します！

■毎回宿題があります！提出は必須！です

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

55

制度改正・報酬改定 速報＆解説LIVE！

ご清聴ありがとうございました！
また次回、ご参加下さいませ(^^)/



天晴れ介護サービス総合教育研究所

榊原 宏昌

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

56